

●完成車ディメンション

求める出力を前提とした完成車ディメンション見直しとして、リアサスペンションの過度な縮みを抑える指標の一つであるアンチスクワット率を、従来モデル*よりも高く設定しました。これにより高速走行や直進時の車体安定性と、コーナリング時のコントロールな車体姿勢変化が得られる運動特性実現に貢献しています。また、これによりライダーのスロットル操作に対し、後輪を効果的に路面に押し付けて増加した駆動力をより効率よく伝えることで、車体レスポンスの向上につなげました。

※ 国内未発表、欧州向けモデル

■ディメンション

